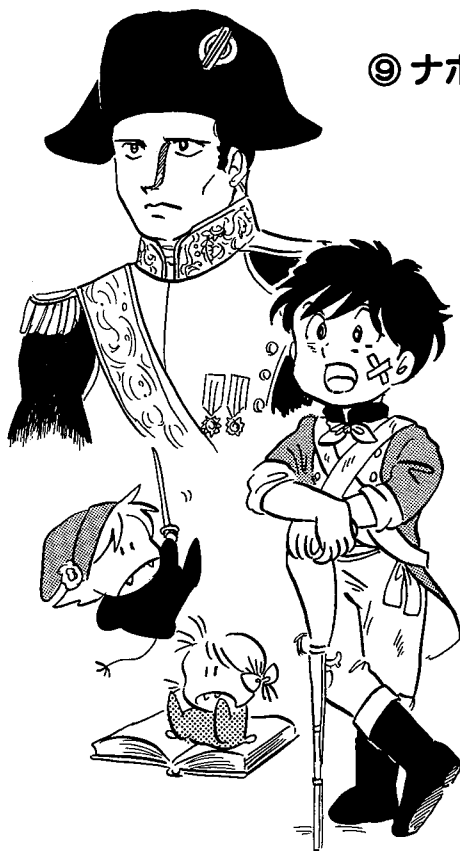
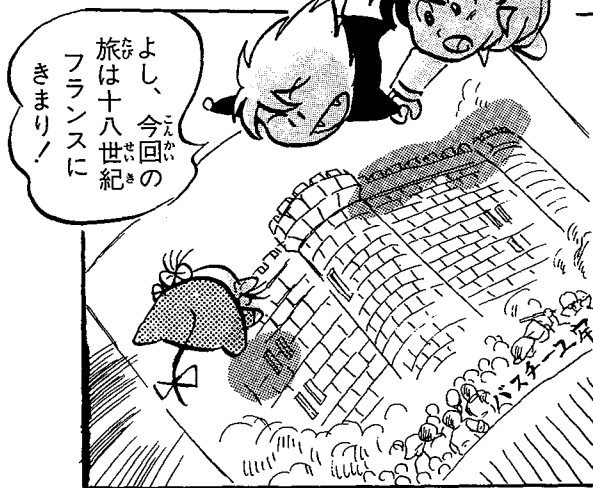
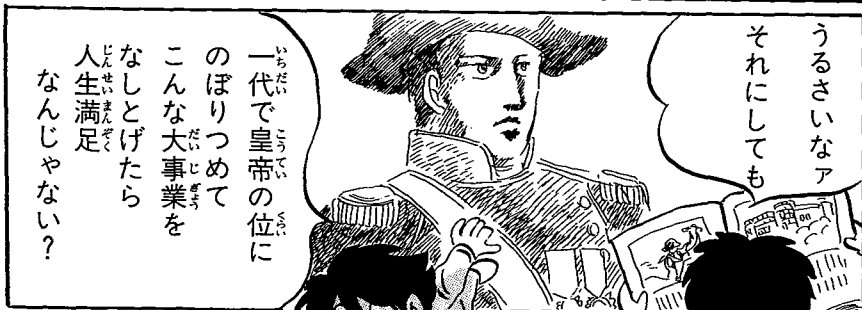


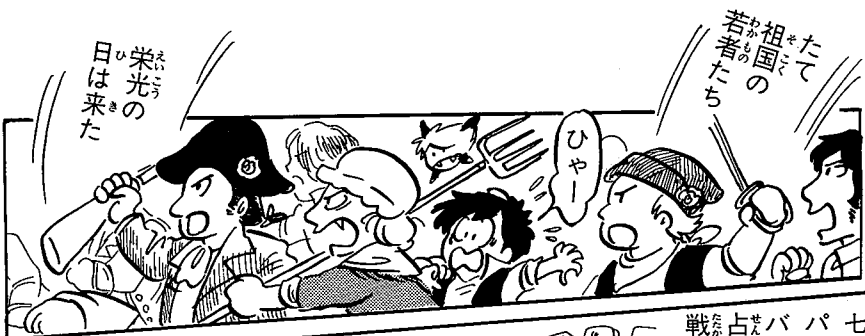
ケロとコロの 仏教入門

◎ ナポレオンの生涯
(その1)



伊藤 礼子



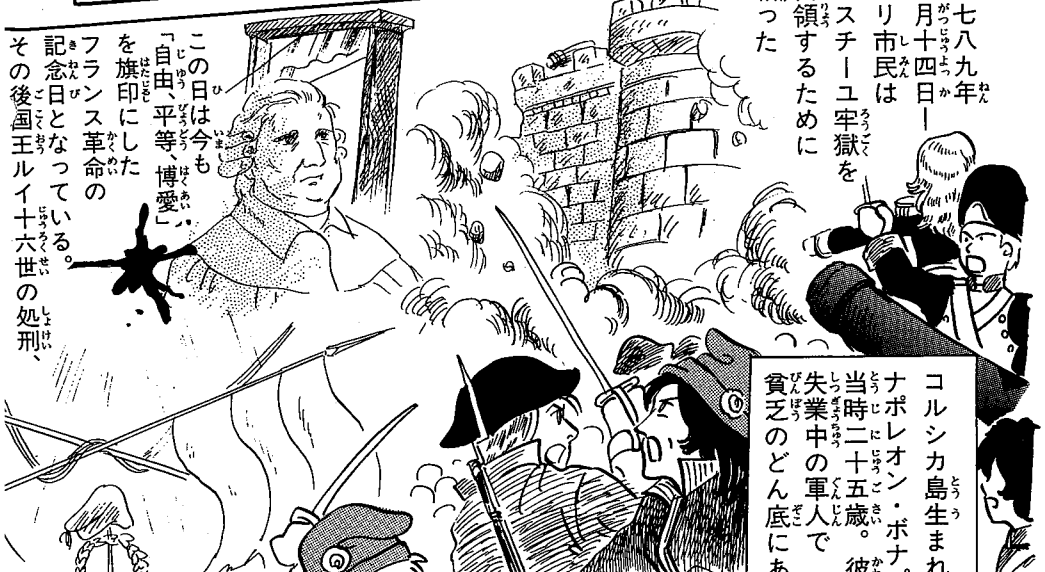


栄光の日は来た

祖国の若者たち

一七八九年七月十四日
パリ市民はバスターユ牢獄を占領するために戦った

この日は今も「自由平等博愛」を旗印にしたフランス革命の記念日となっている。その後国王ルイ十六世の処刑



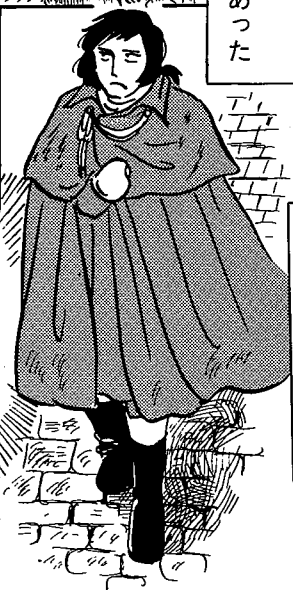
コルシカ島生まれのナポレオン・ボナパルト当時二十五歳。彼は失業中の軍人で貧乏のどん底にあった



何とか革命を利用して出世する

ただ両の眼だけが印象的な光を放っていた

このままで終ってたまるか



すりきれたコート背の低い体はやせて血色も悪かった

革命後のフランスは

イギリス、オーストリア、ロシア等ヨーロッパ中を敵にまわしていた



王制を廃すなんてとんでもないやつらだ

革命なんて許せん!

また国内でも混乱が続いて

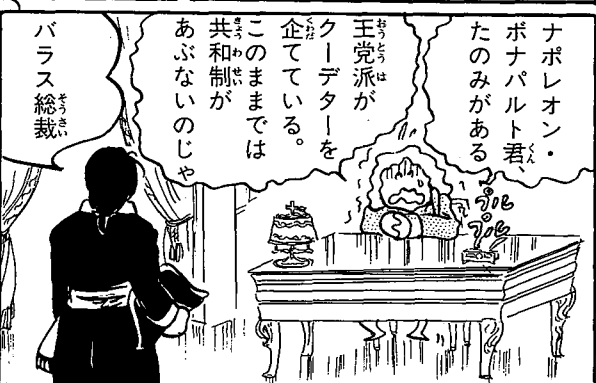


新政府はなつとらん
革命家のフリをして
総裁たちは私腹をこやしてる

一方、われら
王党派は
王制を復活
させたい



私に?



フランス総裁

ナポレオン・ボナパルト君、たのみがある
王党派がクーデターを企てている。
このままでは共和制があぶないのじゃ



かっ...過激なやつ...



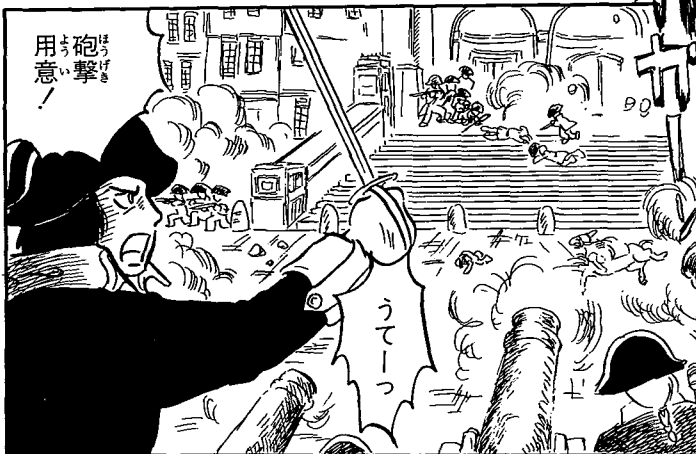
ただしバりに砲弾の雨が降りますがよろしいでしょうか



よろしい指揮権を全て私におまかせ下さるなら...
◆
ただちに鎮圧してみせます!

※ヴァンデミエールフランス革命後、新しくつくられた共和暦の月の名。
直訳すると「ぶどう月」。現在の九月頃にあたる

ヴァンデミエール十三日
反乱軍二万人を
五千人の兵力で一日の
うちに鎮圧してみせた



砲撃の用意!

うてーっ

や…やりましたな
ナポレオンは…

いやー、よかった
共和制は守られた

機敏な判断力、
大胆な実行力、
時には人を人と思わない
冷酷さをもった天才
ナポレオン・ボナパルト

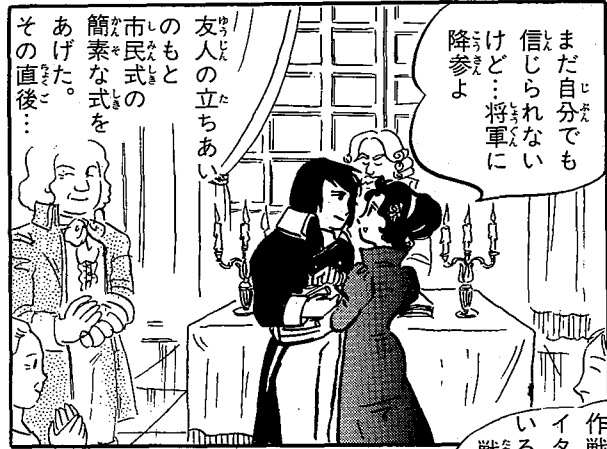
フィン
腰ぬけどもが

せいせい
利用してやるさ

彼はこの戦いで
「ヴァンデミエール將軍」
として歴史の表舞台へ
登場したのである





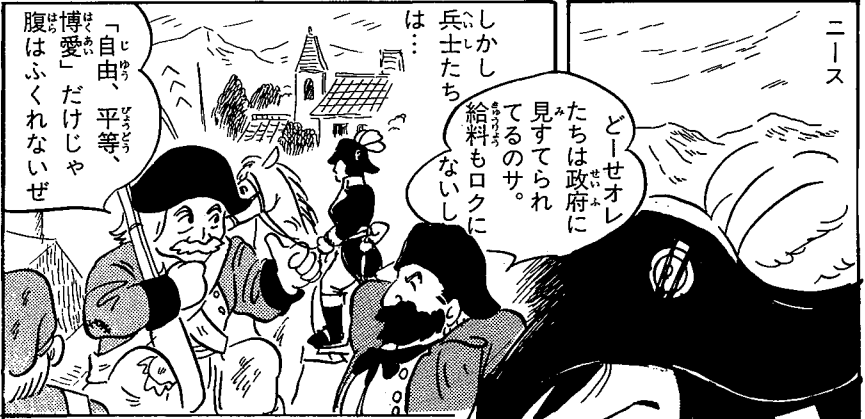


ニース

どーせオレ
たちは政府に
見すてられ
てるのサ。
給料もロクに
ないし

しかし
兵士たち
は…

「自由、平等、
博愛」だけじゃ
腹はふくれなげ



兵士諸君！

君達は服もなく
食糧も十分でない！
だが私は諸君を世界一
の沃野に導こうと
するものだ！



豊かな州
広い都市は
諸君のものだ

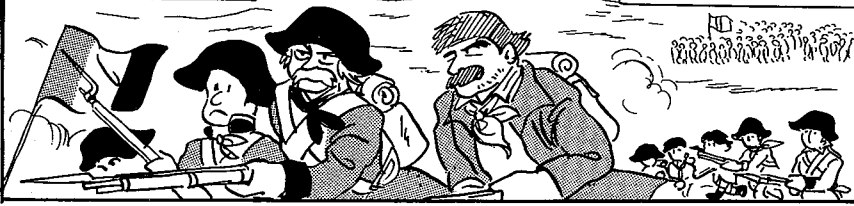
諸君はそこに
名誉と栄光と富を
見出すことだろう！
さあ、出発だ！

ぼろ着の兵士たちは
ナポレオンの演説に
ふるいたった



一七九六年三月
イタリア戦役
はじまる

遠征軍は
ナポレオンの
天才的な戦術で
勝ち進み、首都
ミラノをめざして
いた！

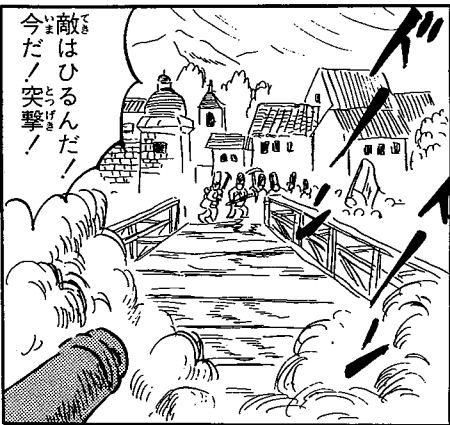


五月ロディ橋
の戦い
敵はロディ橋を
渡って退却を
始めました

わが軍の追撃を
はばむため橋を
こわすつもりです



砲撃せよ！
砲撃せよ！

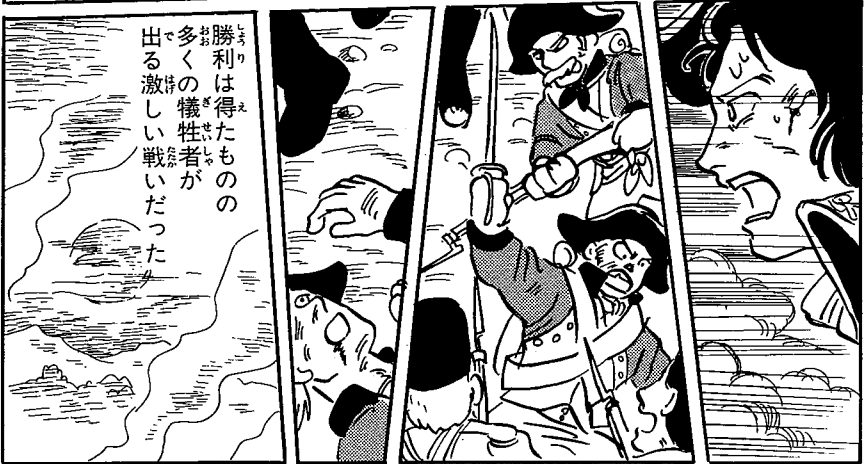
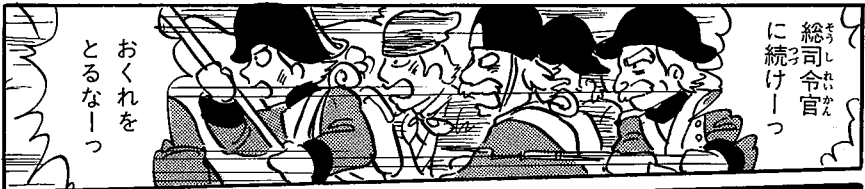


敵はひるんだ！
今だ！突撃！



前進だ！
軍旗をかせつ！

何を
して
いるっ





えらい
やつじゃ

うむ、わしら
古参兵に
負けなくらい
勇敢であった



しかし今日の
総司令の
働きは大した
もんじゃったのー



そして次第に
「ナポレオンの軍隊」
としての自覚と
誇りが
生まれてきた



ナポレオンの果敢な
指揮ぶりに
兵士たちはすっかり心服した



これらの戦いの中、
パリに残した
ジョセフィーヌには
実に二五〇通もの
手紙を書いている

やがてミラノへ入城した
ナポレオンはイタリアの
市民に解放軍として
歓迎された。
その後も、アルコレ橋
マントヴァ砦で連戦
連勝し「常勝將軍」と
賛えられるようになる

あのロデイ橋の激戦の後
戦場を歩きながら
ナポレオンは思ったという

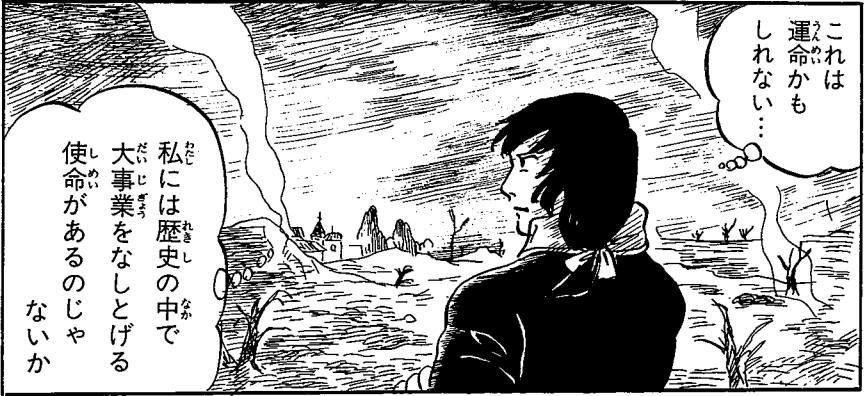
多くのものが
死んだ…

だが先頭に
立った私は
こうして
生きのびた



これは
運命かも
しれない…

私には歴史の中で
大事業をなしとげる
使命があるのじゃ
ないか



私にはフランス…いや
世界を動かす力が
ある！その偉業を
はたすために生まれて
きたのだ！

初めて
わきあがる
野望を
自覚したので
ある





やがてパリへ凱旋したナポレオンは熱狂的に迎えられた

ナポレオン
バンザイ



ナポレオンに
対する
民衆の支持は
圧倒的だった



次の目標は
エジプトだ!

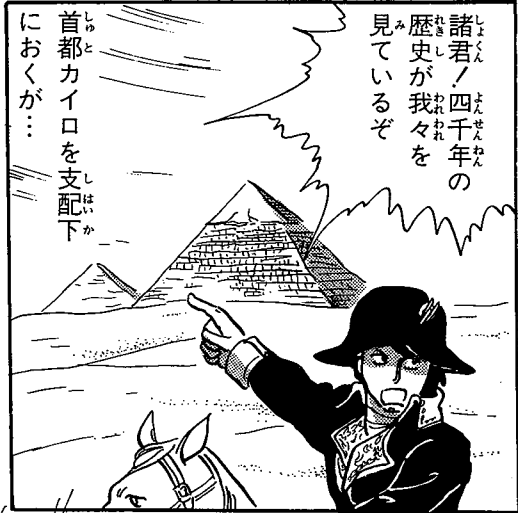
地中海を
支配して
いるイギリスを
たたくのだ!



この新聞を
見ろ

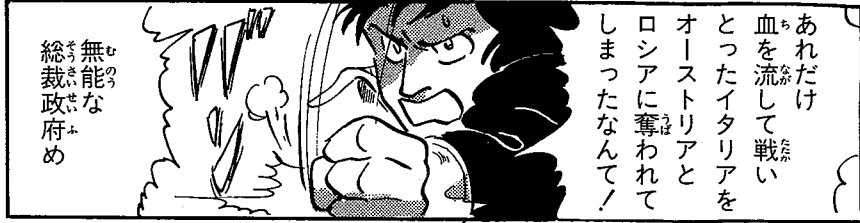
フランス本国の
様子を
激怒した
知って

ナニ、イタリアに
オーストリアと
ロシアが進攻...



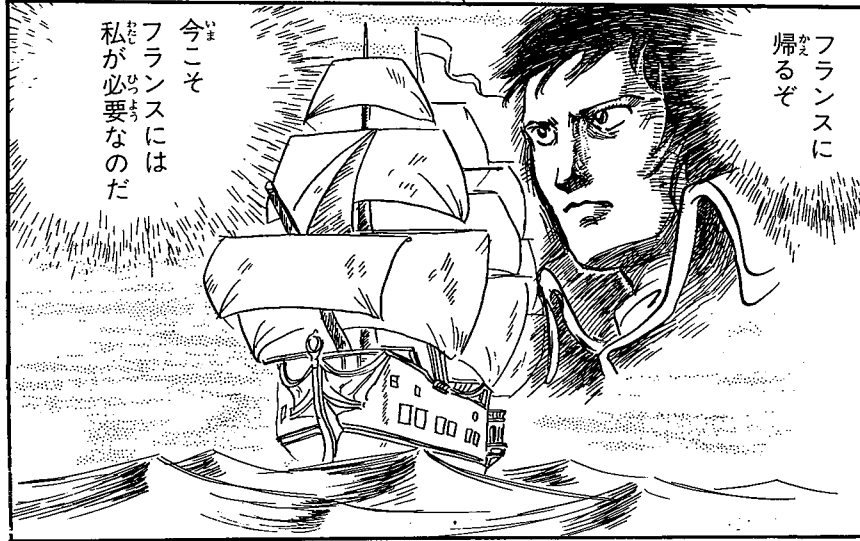
首都カイロを支配下
におくが:

諸君、四千年の
歴史が我々を
見ているぞ



無能な
総裁政府め

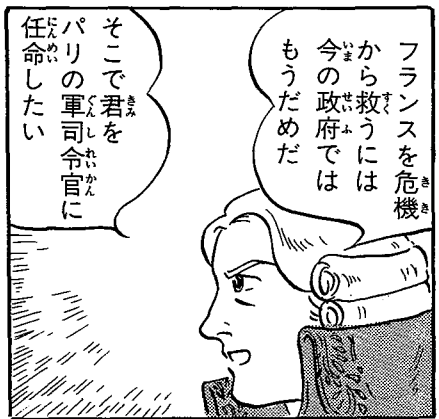
あれだけ
血を流して戦い
とったイタリアを
オーストリアと
ロシアに奪われて
しまったなんて!



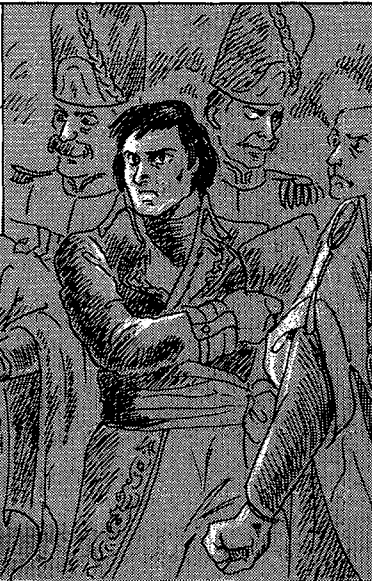
フランスに
帰るぞ

今こそ
フランスには
私が
必要なのだ

※ブリュメール—共和暦の月の名。直訳すると霧月。十月頃にあたる



ナポレオンは武力で政府の議会を解散させた。
※これをブリュメール十八日のクーデターという



シエイエス、デューコー、ナポレオン、の三人の統領が立つことになった

シェイエスも
デューコーも
毒にも薬にも
ならん
政治家だ

このとき
ナポレオンは
長い髪を
切ったという

実権を握るのは
この私だ

ナポレオンが
第一統領に
なってしまったぞ

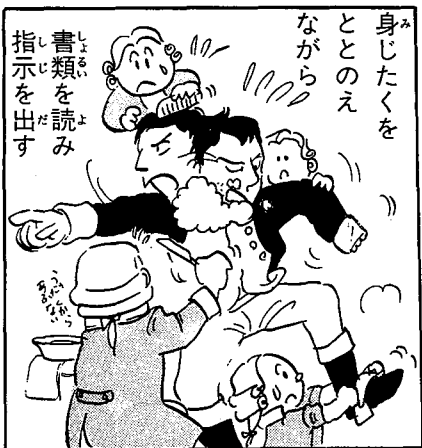
我々は利用
されたのじゃないか？
あいつは独裁政治を
ねらっているのかも…

でも今さら
どうしようも
ない。見ろ、
市民の人気を…

ナポレオン

ナポレオン





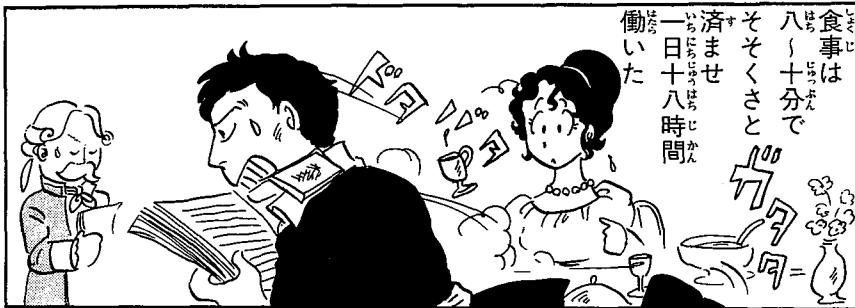
書類を読み
指示を出す

身じたくを
ととのえ
ながら



起床七時
平均睡眠時間は
三時間

ナポレオンの
日常は
多忙を
極めた

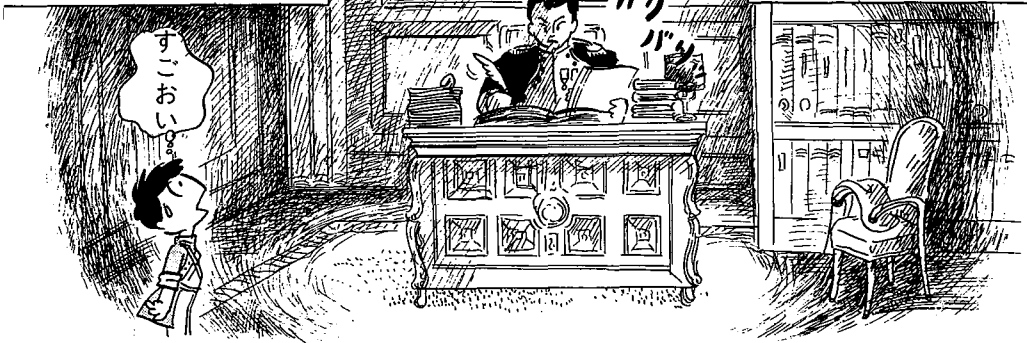


食事は
八十分で
そそくさと
済ませ
一日十八時間
働いた

フランスの政治、軍事の
具体案を組み立てて
いった。
ナポレオン法典や
フランス銀行を設立
したのもこのころで
ある

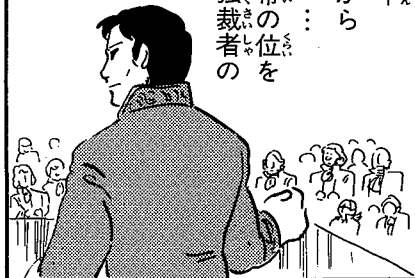
夜の三時か
一番集中
できる時だ

一枚一枚の書類に
目を通し、行政の
末端まで頭の中
に入れ...



すこおい

一八〇二年
第一統領から
終身統領へ…
そして皇帝の位を
めざして独裁者の
道を歩む



当時ウィーンに
住んでいたベートーヴェンは
このニュースに
ショックを
受けた

なにっナポレオン
が皇帝に
なるって？

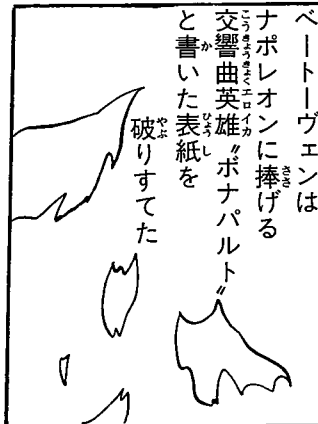


フランス革命の
自由精神を伝える
英雄だと思っ
たのに…！

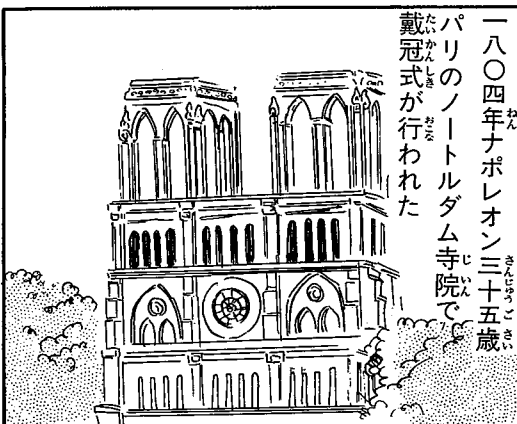
これが権力を
握った人間の
正体か

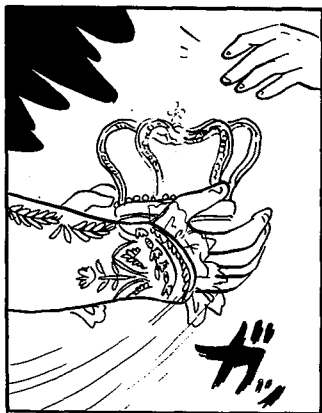


ベートーヴェンは
ナポレオンに捧げる
交響曲英雄「ボナパルト」
と書いた表紙を
破りすてた



一八〇四年ナポレオン三十五歳
パリのノートルダム寺院で
戴冠式が行われた

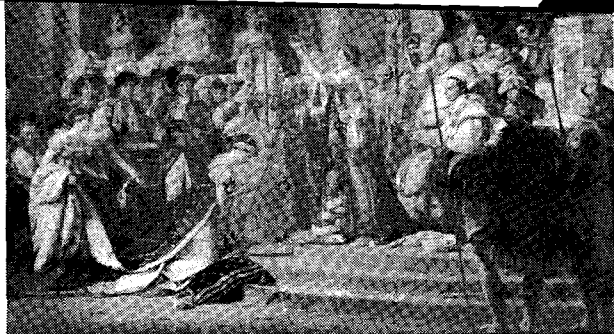




慣例に従って
ローマ教皇が
帝位をさすけ
ようとした：



何と！
自分の手で！



帝位は誰に与え
られたのでもない！
私がこの手で
勝ちとったものだ

ダヴィッド作・皇帝ナポレオン一世と皇后ジョセフィーヌの戴冠式

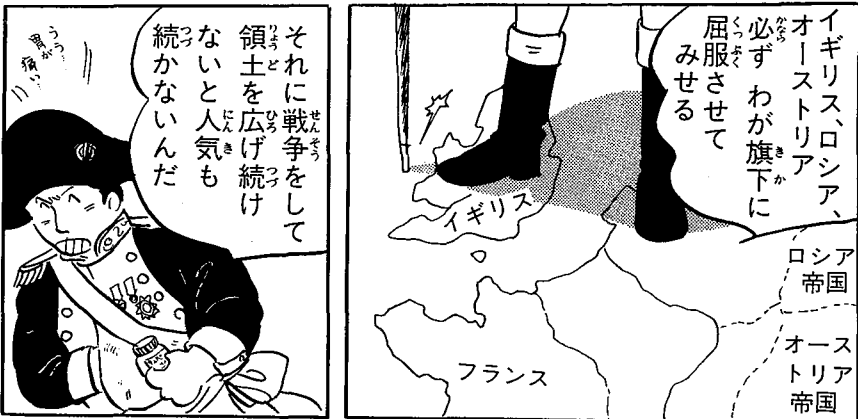


ついに皇帝になっちゃった。もう満足でしょ

とんでもない!

今度はかつてのローマ帝国のようにヨーロッパを支配するのがわしの夢だ

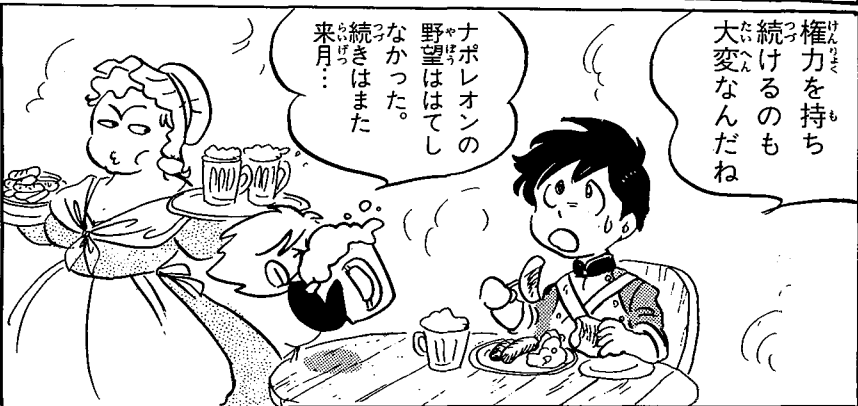
こいつはキリがないや



イギリス、ロシア、オーストリア必ずわが旗下に屈服させてみせる

ロシア帝国
オーストリア帝国
イギリス
フランス

それに戦争をして領土を広げ続けないと人気も続かないんだ



権力を持ち続けるのも大変なんだね

ナポレオンの野望ははてしなかった。続きはまた来月